

官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM) 審査・評価委員会
標準活用加速化支援事業分科会 結果概要

1. 開催日時・場所

- ・令和3年8月26日(木) 12:30～13:45 オンライン開催
- ・令和3年8月27日(金) 13:00～15:00 オンライン開催

2. 委員

上山隆大座長、渡部俊也委員、立本博文委員

3. 議事・結果概要

- (1) 令和3年度標準活用加速化支援事業について
標準活用加速化支援事業のスケジュール等について、分科会として了承。
- (2) 標準活用加速化支援事業実施方針案の決定方法について
決定方法について、分科会として了承。
(参考)決定方法
標準の戦略性、標準活用の効果、継続性、投資誘発効果の4つの視点を6段階(A～F)で評価し、合計点で支援対象を決定(150点満点)。1以上の最低評価(F)又は2以上の低評価(E)があった場合、合計点に関わらず、支援の対象外とする。
- (3) 令和3年度標準活用加速化支援事業の対象施策について
支援対象とする3施策・配分額等を、実施方針(案)として決定。
なお、座長・委員コメントは担当省庁に報告済。課題は、施策に反映予定。

4. 参考(審査・評価結果(合計点/満点)、分科会での主なコメント)

- ① ドローン(経済産業省・国土交通省) 118点/150点
 - ・知財に関する事前調査、戦略策定に必要な実態把握は不足。
 - ・両省で継続的に標準化に取り組むための体制整備は検討が必要。
- ② コールドチェーン(国土交通省) 132点/150点
 - ・国際競争環境は厳しく緊急性はあり、国としての後押しの必要はある。
- ③ スマート農業(農林水産省) 130点/150点
 - ・公的機関側で出来る大きな支援が海外当局とのハーモナイゼーション。
 - ・ビジネス領域に非常に近いものであり、より民間企業との対話が必要。
- ④ 新たな食ソリューション(農林水産省) 111点/150点
 - ・研究活動が中心。標準化の結果、市場拡大することを認識すべきである。
- ⑤ データーブリッジング(厚生労働省) 91点/150点
 - ・研究活動に含まれるもの。本来は成果を広げる活動に使用されるべき。

以上